

トマムの定住対策 ・ 狩猟事故と猟区



山本敬介議員

1 トマムの定住対策

問 トマムリゾートの西寮が閉鎖され、従業員はホテル（ヴィラスポルト）に入ったと聞きま

中村村長 今回、ヴィラスポルトへは約80人移動し、ヴィラスポルト以外へは13人、うち村外7人、村内6人と聞いています。

問 ヴィラスポルトは長く住むにはほど遠い施設と認識しています。リゾートとの話し合いを持たれているのか、伺います。

中村村長 トマムの総支配人とは、従業員寮や定住についても意見交換していますが、従業員の生活圏が十勝圏にあり、具体的な対策には至っていません。

問 若者に来てもらえないという町村が多い中、我が村にはリゾートで働いている方がいる訳です。村長には定住してもらおうという気概があるのですか。私が議会に出て、2年8カ月に

中村村長 定住していただきたいという気持ちは十分あります。トマムの住民の方の要望は、他地域とは違いますので、集落対策で培ったノウハウを生かして、地域の方と一緒に考えていきます。賃貸住宅は、リゾートの職員向けになると思いますので、企業の意向も聞きながら対策を進めていきます。

問 リゾート産業は村が10年にわたって力を注いだもので、働く方に定住してもらう努力は必須です。本気でリゾートと話を進めてもらいたいが、伺います。

中村村長 村の思いをリゾートに伝え、トマムに定住していただけるように考えていきたいと思えます。

問 閉鎖された西寮の今後は。
中村村長 村の賃貸物件でするので、他の施設と同様に維持補修されると考えています。

2 狩猟事故と猟区

問 最近、全国で狩猟の事故が続いていますが、村ではどのような対処をしていますか。

中村村長 直近の事故を受けて文書で猟友会占冠部会有害獣駆除従事者に注意喚起を行いました。

問 本年度の有害駆除頭数は。
中村村長 11月末現在、ヒグマ1頭、アライグマ2頭、エゾシカ235頭です。

問 有害駆除頭数は低調ですが、エゾシカ肉の販売は好調で、在庫もほとんどない状態と聞いています。しかし、シカの頭数は減っておらず、農業被害の軽減もさほどされていません。これを解決するには、占冠村全域を猟区に設定して、狩猟事故の危険軽減と、シカを油断

させ獲りやすくすることが重要だと思いますが、猟区の進捗を伺います。

中村村長 平成26年9月15日から翌年の1月31日の狩猟期に向けて猟区設定をするため、北海道の補助事業「地域づくり総合交付金」の交付決定を受けました。

問 来シーズンの狩猟期には猟区設定するという事でしょうか。

中村村長 国の許認可事項ですが、それをめどに進めています。

3 地域材の活用

問 クラフトは、地域材の有効活用の最終的な出口として重要です。クラフトをしつかりサポートしていく意味からも、村長室の応接セット入れ替えにあたって、村の工房製品を使うべきと思いますが、伺います。

中村村長 クラフト工房に問い合わせたところ、家具類の制作も可能と回答がありましたので、占冠産材を使ったテーブルを考えています。また、村内の木材利用促進としてクラフトの記念品も考えています。

4 物産館の パブリックスペース

問 以前にも質問した、物産館1階の障がい者の方も使用できるトイレがあるパブリックスペースの休日について伺います。

中村村長 4月から10月の7カ月間で1階のパブリックスペースの使用できない日は7日間です。冬期間は休日が増える状況にありますが、ずっと開館するのは難しい状況です。

問 例えば休日には、道の駅へ誘導できる看板を設置できないか伺います。また、1階のシャッターの位置を変えれば問題は解決すると思うのですがいかがでしょうか。冬の施設前のスロープの除雪と併せて伺います。

中村村長 シャッターは数万円かかるといふ見積りです。誘導に関しては一考しなればならないと考えています。冬のスロープの除雪ですが、今のところは考えておらず、現状で対応していきたいと考えています。